

育休改革

改革1

祖父母のための孫育休制度「ジジ・ババ育休制度」

育休を取得する雰囲気が出ていない



育休を取りにくい背景には「周りの目が気になる」という意見が挙げられる



ミドル・シニア世代は育休を取得しやすい環境が整っていなかったため、育休取得について嫌悪感を抱いているのでは？

孫育休制度の導入により、幅広い世代で育休に対する価値観を見直す
→ヤング世代の育休も取得しやすくなる

制度

- ①孫育休に対し、休暇を取得することができる
- ②育児休業同様の手当金が与えられる

目標

- ・核家族化が進む社会で、孫と触れ合える
- ・シニア、ミドル世代が納得した形で育休を取得しやすい環境を作る
- ・子育ての経験を活かしてアドバイスできる

改革2

育休組織「OCW」(=Organization for Child-care and Worker)

育休取得後の人材が確保できない



家庭のためにも育休を取得してほしいけど、人手が足りない…

育児休業に特化した人員派遣組織の設定により
人手不足が原因で取得を諦める必要がない！

様々な部会の設立!

組織の人材

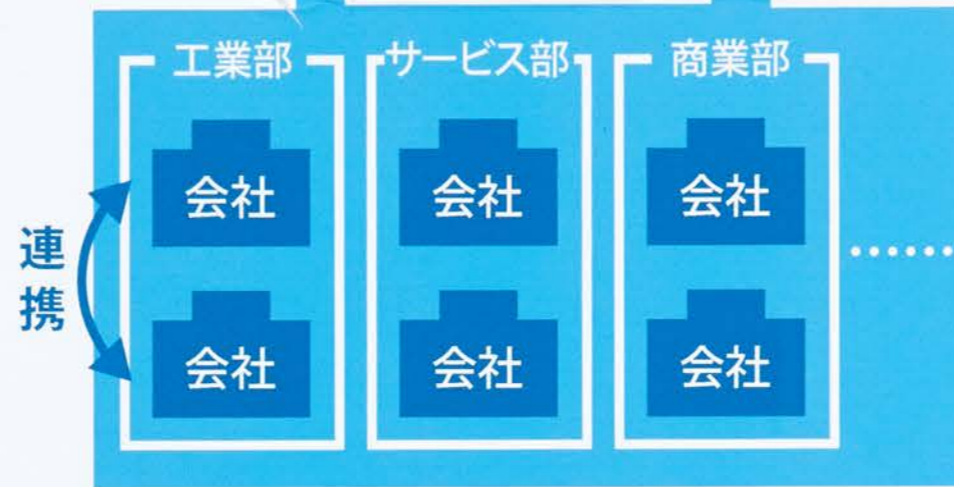
組織の人材には…
定年退職した人を組織の人材として再雇用することで、幅広いジャンルに対応できる

○ ルール

制度を受ける会社は、組織に加盟しなければならない

○ 制度

- ①育休による人手不足に対し、あらゆるジャンルに対応した組織の人材を雇用することができる
- ②組織には「部会」が設定されており、専門職などの人手不足の場合は、同じ部会に所属する会社から人材を雇用できる



○ 目標

- ・組織にすることで、会社の育休取得に対する意識が高まる
- ・定年退職後に働きたい人を雇用できる

改革3

これからの思想の提案 「武士道 → 撫子道」

「撫子道」の思想のもと、育児に対する新しい価値観

武士道…日本の近世以降の封建社会における武士の道徳規範および価値基準。現代の「男性は働き、女性は家事」という概念に繋がる。

撫子道…武士道になぞった、育児に関する道徳規範。「撫」には可愛がるの意味があり、大切に子どもを育てるといった意味が込められている。

撫子道

義 子育てに対する正義感がある

勇 他児であってもその子どもについて慮り、育児環境の邁進に励む

仁 社会全体を和としてみなし、互いの存在を認め合い社会的規範に従う

礼 撫子道の観念を型として表す

信 育児に対し真摯に向き合う

忠 子どもに対して愛情を持って接する

智 子どもや育児を通じた社会に対して関心を寄せる

改革後

様々な社会問題の改善に!?

この改革は、移りゆく時代にもなって、変化する育児休業に対する価値観を、広い世代に浸透させることへ繋がります。現在の世代の違いによりできた格差を、お互いが納得できる形で認め合い、歩みよることがこの改革では実現可能なのです。